

駐在員だより「スクールバス」

アメリカ映画で、黄色のスクールバスを見かけることがあります。私が駐在しているミシガン州イーストランシング市でも、黄色のスクールバスが走っています。スクールバスはきめ細かく運営されていて、子どもの家をしっかり網羅しています。転校生が来ると、その生徒の家が今までのルートになければ、近くまで行くようにバスルートは変更されます。「今日は転校生が来たから、バスのルートが変わったよ」と子どもが話していたことがありました。

我が家には、イーストランシング高校に通う高校生とマクドナルド中学校に通う中学生がいますが、それぞれスクールバスに乗って通っています。家から中学までは約 2km、高校までは約 3.5km で、高校と中学は 1.5km ほどしか離れていませんが、始業時間が異なるためか、イーストランシング高校に行くバスは、アパート前を 6 時 45 分に、マクドナルド中学校に行くバスは、アパート前を 7 時 31 分に出ます。(イーストランシング高校は 7 時 45 分から、マクドナルド中学校は 8 時 5 分から授業が始まります。)

スクールバスの感想を子どもに言わせると、「バス中はものすごく臭い。その上、座席が固い」のだそうです。

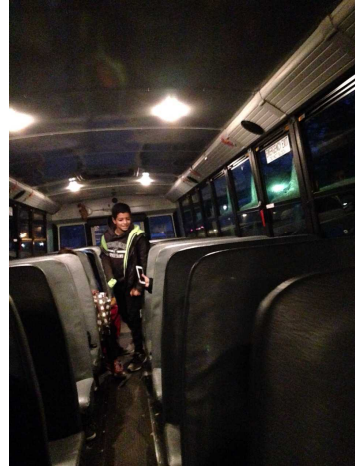
教育局の同僚によると、今は親が送迎することも多いが、昔は親が送ってくれることなんてなかったから 2 人分の席に 3 人が座るとかということもあった、今はマシだよ、と。

ミシガンでは、冬場は、公立学校が休校になることがあります。今年の冬は計 4 日、公立学校が休校になりました。雪がひどかった日もありましたが、雪が降っていないのに、休校になったことには驚きました。朝の気温がマイナス 20℃ ぐらいだった日、電話があつて、自動音声で「公立学校は休校です」と。スクールバスを待っている間に子どもたちが危険な状態になる可能性があるため、とのことでした。

ちなみに、アメリカのスクールバスは、子どもが乗り降りしているときは、ランプを点滅させて、あわせて、スクールバスの後続車、対向車線を走る車に分かるように、車体の左側にストップサインの標識が示されます。この時は対向車線側の車も停車しなければなりません。止まらないと交通法規違反になります。子どもを守る、という意識がしっかりしています。



車体の左側の stop 標識



車内の様子